

2021 年度ゼミ (3003 演習 2A) 要覧

担当者名	末内啓子
演習テーマ	国際政治学
校外実習	1、実施しない
メール・アドレス	stombsue@ed.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	金曜日昼休み、三限
2022 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし
授業概要	国際政治の歴史について理解を深め、 이슈を広義にとらえて分析の基礎を作る。国際政治の時事的なトピックについての発表と討論。国際政治学のテキストを複数利用し、発表(レジュメも用意)と討論。「今、国際政治を考えることの意味」を問い続けること。
学習目標	国際政治学の基本的な議論に慣れる。具体的なテーマを分析する。
授業計画	<p>【第 1 回】イントロダクション (授業計画、課題、評価などを説明)</p> <p>【第 2 回】国際政治についての関心</p> <p>【第 3 回】レポートについて</p> <p>【第 4 回】国際政治の歴史</p> <p>【第 5 回】国際政治の歴史 発表①</p> <p>【第 6 回】国際政治の歴史 発表②</p> <p>【第 7 回】国際政治の歴史 発表③</p> <p>【第 8 回】国際政治の 이슈ウ</p> <p>【第 9 回】国際政治の 이슈ウ 発表①</p> <p>【第 10 回】国際政治の 이슈ウ 発表②</p> <p>【第 11 回】国際政治の 이슈ウ 発表③</p> <p>【第 12 回】レポートについて発表①</p> <p>【第 13 回】レポートについて発表②</p> <p>【第 14 回】レポートについて発表③</p> <p>【第 15 回】まとめ</p>
予習	授業中に指導
復習	授業中に指導
授業に関する 注意事項	出席を前提とする。
教科書	中西 寛、石田 淳、田所 昌幸『国際政治学』有斐閣、2013 年。その他、 随時指導。
参考書	随時指導。
成績評価の 基準	レポート 50%、授業参加 (発表・討論) 50%
関連 URL	
備考	

2021 年度ゼミ (3004 演習 2B) 要覧

担当者名	末内啓子
演習テーマ	国際政治学
校外実習	1、実施しない
メール・アドレス	stmbstue@ed.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	金曜日昼休み、三限
2022 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし
授業概要	国際政治学のテキストや論文を読み、発表(レジュメも用意)と討論。国際政治の時事的なトピックについての発表と討論。「今、国際政治を考えることの意味は何か」を問い続けること。
学習目標	次年度の「卒業論文」のテーマを探し、準備を開始する。
授業計画	<p>【第 1 回】イントロダクション (授業計画、課題、評価などを説明)</p> <p>【第 2 回】リサーチ・プロジェクトについて①関心</p> <p>【第 3 回】リサーチ・プロジェクトについて②テーマの比較と選択</p> <p>【第 4 回】リサーチ・プロジェクトについて③先行研究とは</p> <p>【第 5 回】リサーチ・プロジェクトについて④資料検索</p> <p>【第 6 回】個別面接指導</p> <p>【第 7 回】「学際的」とは「国際的」とは</p> <p>【第 8 回】先行研究とリサーチ・プロジェクト</p> <p>【第 9 回】先行研究について発表①</p> <p>【第 10 回】先行研究について発表②</p> <p>【第 11 回】先行研究について発表③</p> <p>【第 12 回】リサーチ・プロジェクトについて発表①</p> <p>【第 13 回】リサーチ・プロジェクトについて発表②</p> <p>【第 14 回】リサーチ・プロジェクトについて発表③</p> <p>【第 15 回】まとめ</p>
予習	授業中に指導。
復習	授業中に指導。
授業に関する 注意事項	出席を前提とする。
教科書	中西 寛、石田 淳、田所 昌幸『国際政治学』有斐閣、2013 年。その他、 随時指導。
参考書	教養教育センター『アカデミック・リテラシー・ハンドブック』。戸田山和久 『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』NHK ブックス、2012 年。
成績評価の 基準	レポート 50%、授業参加度(発表、討論) 50%
関連 URL	
備考	